

ふれんど

【ひろがれ、かさなれ、むさしののわ】

2022
第56号



特集

エシカル消費について
一緒に考えてみませんか
社会福祉法人武蔵野が取り組むSDGs

●トピックス

紙からデジタルへ

●食を通じて地域とつながる

むさしのエコ弁当

●たて糸よこ糸

ギロックフレンズ

●えすぶれっそ

地域の中で広がる輪

前山 智子

伝えたいこと

小野 裕

●笑門来福

美しい心、助け合う文化

特集

エシカル消費について 一緒に考えてみませんか

〜社会福祉法人武蔵野が取り組むSDGs〜

福祉のまちづくり

社会福祉法人武蔵野は、法人の基本理念である「地域社会に役立つ」により、福祉事業の伸長を期すとともに、地域社会におけるさまざまな課題に向き合い、法人の公益性を高められるように経営基本原則を掲げています。

そして、地域の中で相互に認め合う関係をつくり、それを広げて誰もがいきいきと活動できる福祉のまちづくりの一翼を担いたいと考えています。

この考えは、SDGsの「誰ひとりとして取り残さない」という原則とも相通じるものです。

社会福祉法人武蔵野にできること

ご利用者への支援やサービスの提供のほかに社会問題・地域課題の解決に向けて実践を積み重ねてきました。リサイクル素材の雑貨の販売や、フードロス削減の取り組み、寄附付きの定食メニューの開発など活動はさまざまです。今回はその活動の一部をご紹介します。

山びこ

山びこだるまとパルプポップコーン

→地図 P.8-A

山びこでは、シュレッダーにかけた書類や回収した牛乳パックのパルプを再利用して、だるまなどの商品を制作しています。だるまはすでになじみの商品ですが、パルプポップコーンは現在商品化に向けて動き出しているところです。調理後の油にこのパルプコーンを投入すると、油をみるみる吸収して廃棄することができる、環境にやさしい優れものです。



顔入れワーク
ショップでも
大人気のだるま



見た目もかわいい
パルプポップコーン



武蔵野福祉作業所

リメイクバッグ

→地図 P.8-B

リメイクバッグは、主に使用済みの穀物袋をアップサイクルしたバッグです。ご利用者が目打ちと縫い針を使って、チクチクと手縫いで制作しています。

この取り組みは多くの企業・団体、店舗のみならず賛同をいただきながら、協力の輪が広がっています。この商品を通して、ひとつはリサイクル資源、もうひとつは障害者の働きが社会の中に取り入れられる循環型社会の実現に向けて、その一端を担うことができたらと考えています。



レジ袋有料化や環境意識の高まりを受け、300袋がお客様の手に渡りました

2015年に国連サミットで採択された「SDGs（17の持続可能な開発目標）」は達成に向け世界中で取り組まれています。「エシカル消費」とは、その12番目の目標「つくる責任、つかう責任」ともつながる考え方の一つです。地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動のことを指します。

ゆとりえ

もったいない食堂・ちょこっと応援弁当

→地図
P.8-C

以前から食事のキャンセルなどにより残った食材を活用する方法はないかと考えていたところ、長引くコロナ禍で食事に困っている人達が増えているというニュースを見聞きしました。これを役立てられないかと思い、フードロス解消と子育てや介護者の応援を目的として、「もったいない食堂・ちょこっと応援弁当」を令和3年7月より開始しています。

ゆとりえ
もったいない食堂
ちょこっと応援弁当
毎週水曜日
11時45分～12時15分
申し込み
火曜17時まで
0422-72-0311
料金
¥200 (税込)
10食限定
内容
ご飯、おかず
2～3品
*お支払い後には必ずに
お返しをお願いします。
*マイバッグをお持ちください。



どなたでも購入いただけます。
メニューは当日のお楽しみ

武蔵野福祉作業所

→地図
P.8-D

調理作業中のエコ

調理器具に付着した脂は、そのまま水と洗剤を使って洗うと一緒に流れてしまい、ひいては海が汚れてしまいます。レストラン七福や武蔵野福祉作業所の給食では、いらぬ作業着や古布を使って油を拭き落としてから洗浄することが作業に当たるご利用者に定着しています。

また、地元野菜などの材料を無駄なく使います。例えば、人参はよく洗い、皮をむいたら皮は捨てずにミキサーにかけてドレッシングなどにしています(今号のP5「食を通じて地域とつながる」もご覧ください)。



皮をむいた人参はレストランのランチやテイクアウト惣菜に。人参の皮はスチームをしてミキサーにかけて使い切ります

やさしい食堂七福の「TABLE FOR TWO」

七福でTFTマークの付いたメニューを食べると、1食につき20円の寄付金が支援地域(基準を満たす東アフリカの5か国)の子どもたちの学校給食(1食分)になります。美味しく食べると「TABLE FOR TWO = 二人で食事を分かち合う」ことにつながるのです。この活動に参加するには栄養やカロリーのガイドラインがあり、七福が得意とするところです。たくさんの方に幸せになっていただきたいという気持ちで13年続けています。



TFT 対象の「野菜定食」1,050円

廃材アート

武蔵野福祉作業所では週1回ワークショップという表現活動を少数で行っています。階段ギャラリーや玄関入り口にはワークショップで制作した廃材を使った作品が飾られており、季節に合わせて色とりどりのアートがお出迎えしてくれます。



レストランで使用していた不要になったプラカップのふたを利用した作品。夏に涼しげでした

ふれあい

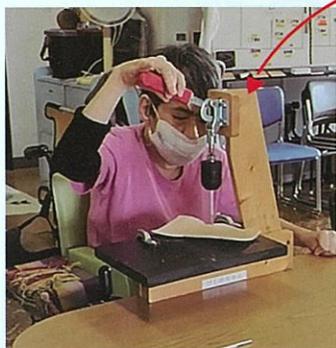
革細工

→地図
P.8-F

引く、押す、投げる、倒す—。これは、重度の身体障害者の創作をサポートする自助具の操作方法です。ふれあいに通うご利用者には、指一本だけ、脚だけなど、ご自分で動かせる部分に制限がある方がいらっしゃいます。その「うごき」に着目した自助具が、「創作ツール」です。

「自分で参加した!」「できた!」という気持ちを大切に試行錯誤して取り組んできました。ご利用者の「うごき」をじっと待ち、少しずつ形になっていくことを喜びあっています。

びしめちゃん



「びしめちゃん」この自助具のおかげで刻印打ちや穴あけの作業が広がりました

すばる

押し花作品

→地図
P.8-G

すばる生活介護では、創作的活動の一環として、月に数回押し花作品作りをしています。花は、種から育てたものや、落ち葉を使用しています。乾燥した花は小さくとても壊れやすいので、急がず慌てず集中して作業に取り組んでいます。



現代を生きる私たちにとって、環境保全や雇用の機会均等、被災地支援など課題は山積みです。しかし、日常生活で商品やサービスを選ぶとき、「働く障害のある方を応援できる製品を選んでみよう」「製造過程が環境にやさしいか調べてみよう」「今日は地元食材で夕飯を作ってみよう」など、それぞれが自分なりの問題意識をもつことで、よりよい社会の実現につながります。当法人においても誰もがいきいきと暮らすことのできる地域社会を目指し、これからも日々の活動に取り組んでまいります。

自分なりの問題意識をもつこと

ウェルフェアトレード商品



ウェルフェアトレードとは、「福祉（ウェルフェア）」と「フェアトレード」を合わせた言葉です。

大地

刺繍作品

→地図
P.8-E

大地の刺繍作品は、ご利用者自身で好きな糸の色や模様を選んで取り組んでいます。色鮮やかな糸の組み合わせや難しそうな柄に挑戦する方もいらっしゃいます。一針一針に込められたご利用者の思いが、ボランティアの協力を得て、素敵な作品に形作られています。



印を付けずに縫い進める方も。かわいらしい形をした人気のポーチです

ワークセンターけやき

→地図
P.8-H

印刷企画制作室（通称 西久保オフィス）

西久保オフィスは、名刺や封筒、ポスター、パンフレットなどを製作している印刷店です。そして、障害がある方の就労継続支援の事業所でもあります。年末の年賀状印刷は、地域のお客様に長年ご利用いただいています。



◆ご注文はこちら
ワークセンターけやき 印刷企画制作室
TEL : 0422-54-5051

紙からデジタルへ



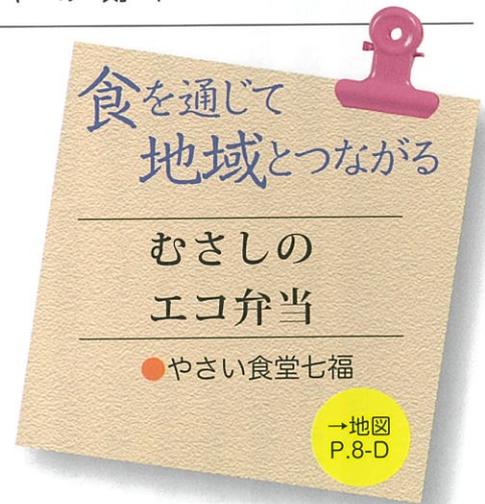
ICカードを機械にかざし、退勤する職員

当法人では、今年1月より勤怠管理のデジタル化に取り組んでいます。紙のタイムカードだったときには職員が必要な申請書類を作成し、それを事務員が手作業で集計していました。30年前の法人設立時から職員数は約6倍に増え、毎月の給与計算にかかる時間も増える一方でした。そこで、事務作業の効率化のため、新たに勤怠管理システムを導入することになりました。

新システムの特徴は、ICカードを機械にかざすだけで出勤・退勤時刻の記録と管理を行えることです。紙の申請書ではなく、パソコンから休暇や残業の申請を行います。現場の職員からは「自宅からでも自分のスマホで休暇の申請ができ、便利になった」との声があげられました。労働時間をリアルタイムで把握できる機能もあります。見える化されたデータにより、仕事の仕方や量に無駄や無理がなかったか振り返ることができ、過重労働防止や働き方の見直しにも活用できます。

システムの本運用からは日が浅く道半ばではありますが、このデジタル化によって勤怠管理業務の合理化を図り、職員採用活動や施設の環境改善など、ご利用者サービス向上につながる業務により力を注げるよう職員一同努めてまいります。

(法人本部事務局 石田 真緒)



大根の葉のふりかけが入った「むさしのエコ弁当」

武蔵野福祉作業所内の「やさい食堂七福」では、昨年12月に開催された武蔵野クリーンセンター主催のイベント「エコマルシェ&オープンハーヴェスト」に参加しました。「食」と環境をテーマにしたイベントの一環として、クリーンセンター周辺の各飲食店がエコなお弁当を企画し、期間限定で販売したのです。

七福が企画したのは、食品ロスの削減を目指し、野菜の捨ててしまう部分まで使った「むさしのエコ弁当」です。エコをテーマにしたお弁当の販売は初めての試みでしたが、七福では以前から地元野菜をすみずみまで大切に使用した料理を提供していたため、その取り組みの価値を改めて活かす機会となりました。

地域のエコな取り組みに参加し、あらためて七福として環境のためにできることは何かを考えるよい機会となりました。これからも美味しく安心安全なお食事を提供し、地域の皆さまに喜んでいただけるお店を目指していきたいと思えます。

(やさい食堂七福 加藤 直子)



ギロックフレンズのみなさん
右から2人目が主宰者の上田夕美さん。

「ギロックフレンズ」(以下、「ギロック」)は、有志が集まってさまざまな音楽活動をしている団体です。主宰者の上田夕美さんはピアノ講師の傍ら、ボランティアメンバーとともに演奏活動を続けてきました。



ギロックフレンズ

連絡先 Email :
yumisan@ac.auone-net.jp



感染対策のため別室で演奏し、子どもたちは画面を通して演奏やパネルシアターなどを楽しんでいます。

「ギロック」という名前の由来は、ウィリアム・ギロックというアメリカの音楽家です。ギロックは、「音楽は楽しむためのもの。人と人とのコミュニケーションを助けるもの」と考え、形式にこだわらない自由な演奏を大事にしました。私もその信念にとっても共感しています」と上田さん。

自由で楽しい音楽活動がモットーの「ギロック」では、十数名の演奏家が入れ替わり立ち替わり活躍し、福祉施設や子ども家庭支援センターなどの音楽イベントを盛り上げてきました。在籍するメンバーは心から音楽を楽しんでいる人達ばかり。特に規約等を設けなくても、「できる人が演奏する」というやり方で、十数年にわたり活動が続いているのだそうです。

「社会福祉法人 武蔵野」(以下、「武蔵野」)が運営する「みどりのこども館 通園部ウィズ」(以下、ウィズ)でも、10年ほど前から年に1回、秋・冬にかけて、定期演奏会「ミニコンサート」を行っています。これは、ウィズの通園児や保護者向けの非公

開のもの。北風がまだまだ冷たい2月半ばのミニコンサートでは、「ギロック」の演奏家たちが、電子ピアノ、フルート、ファゴット、チェロ、太鼓などで、童謡「山の音楽家」や「となりのトトロ」のテーマ曲「さんぽ」など、一足早く春を感じさせるような軽快で温かな演奏を披露していました。感染対策のためにウィズの子どもたちは別室にて、スクリーン越しに演奏を聴いていましたが、「ギロック」のメンバーに手を振ったり、笑いかけたり、体を揺らしたり、リモートの音楽鑑賞を満喫していました。

今後の展望について上田さんはこう話します。

「武蔵野」が運営する『ふれあい』という施設で15年ほど前に演奏会を始めたのが、「武蔵野」との関わり合いのスタートでした。ふれあいでの演奏会は、月1回がいつのまにか週1回になり、今も続いています。ウィズでの演奏会も、年1回から季節に1回くらいに増やせたらいいですね。そうしたら、四季折々の音楽を子どもたちに届けられますから」
コロナ禍以前のミニコンサートでは、子どもたちが楽器を身近で見ようと身を乗り出したり、演奏者と一緒になってリズムをとったり踊ったり、子どもたちとの触れ合いから生まれる臨場感がとてもよかったのだとか。

「対面で演奏できる日が早く戻ってくると思います。それまで、ウィズの方々と協力しながら、子どもたちに音楽を伝える活動を続けていきます」と、上田さんは最後に笑顔で締めくくってくれました。(聞き手 みどりのこども館 鎌倉 香苗)

地域の中で広がる輪

みどりのこども館相談部ハビット

前山 智子

→地図
P.8-I

みどりのこども館相談部ハビットには、親子通園グループ（就園前）があります。お子さんの発達に関する心配ごとについて、親子で来館してハビットのスタッフと話したり、他の親子と交流しながら情報交換する場になって



ぐるりんのおもちゃは子どもが少し触れただけでも動き出したり音が鳴る、カラフルなおもちゃばかりです

います。年度によってグループの形は変化しますが、気軽に相談し、親子で交流をする場であるという目的は変わりません。

療育（福祉・医療）の相談だけでなく、地域のちょっとした情報や、日々の出来事についてメンバー間でお話することが、ご家族にとってパワーの一部になっているのではないかと感じます。また、昨秋にはグループの活動の一環として、館内にある「おもちゃのぐるりん」へグループのメンバーと初めて一緒に遊びに行き、近所の方との交流を深めてきました。

親子が安心して過ごせる場所が増え、多様な子育てができる地域になっていくよう、子育て支援の業務に携わっていききたいと思っています。

伝えたいこと

ワークステーションりぶる

小野 裕

→地図
P.8-J

りぶるには、ご利用者の社会生活力を高めるためのプログラムがあります。提供するの「自分の話をする」そして「人の話を聞く」経験。昨年末も、令和3年を総括して一人ひとりが語る「忘年会」を行いました。普段軽作業を主な活動としてご利用者にとって、話をし、話を聞くということは貴重な体験です。

コロナ禍ということもあってか、マ



伝える気持ち振動になって熱気のある会場です

イクを持った皆さんの心中にはそれぞれ「伝えたいこと」が積もっていたようです。

ある人は毎日黙々と作業しています。「隣で働くと元気の出る大切な仲間の名」を話題にしました。また、りぶるの旅行を楽しみにしていた人が、感染症で一変した世界を受け止めていく「覚悟」を語る場面もありました。あいつちあり、どよめきあり、拍手あり……もっと詳しく聞きたくなる内容のものばかり。

ご利用者の発する話には、「伝えたいことの本質」が詰め込まれています。日頃の苦楽をともにする人がその思いを語り合う。お互いがつながりを感じ、耳を澄ますのはごく自然な姿であったかもしれません。堰をきったようにいきいきと「思い」を語り、聞く人へ思いをまっすぐ届けようとする姿は、どれも掛け値なしに輝いていました。

話し手の喜びや苦労が聞く人の心に直に響いたことで、一体感のあるよい「忘年会」となりました。



笑門来福

美しい心、 助け合う文化

皆さま方には日頃より温かい励ましとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、元号が「平成」から「令和」になり、5月1日で丸3年が過ぎて4年目となります。

「平成」の出典は、史記の「内平らかに外成る」、書経の「地平らかに天成る」から2文字をとったもので、国の内外にも天地にも平和が達成される、との意味です。

また、「令和」の出典は、日本に現存する最古の歌集である万葉集の「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から2文字をとったもので、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ、との意味とされています。

平成は、西暦1989年1月から2019年4月まで、およそ30年の間に、天皇陛下のご成婚(当時は皇太子)、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、五輪メダル多数受賞、東日本大震災、ノーベル医学生理学賞など、さまざまな出来事がありました。



そして令和の3年間は、消費税10%、新型コロナウイルス感染症、日経平均株価3万円超、東京五輪、民間人宇宙旅行、ノーベル物理学賞などが記憶に新しいことと思います。

ニュースや新聞報道においては、世代間の分断、多様な価値観の対立、尊厳意識の低さ、不確実な時代、など気が滅入る言葉が目につきますが、私たち日本人がもつ美しい心と助け合う文化で、この時代を乗り切っていけるものと信じています。

新型コロナウイルス感染症に関しては、第6波の影響により、事業所を一部休止することとなり、大変ご迷惑をおかけいたしました。

今なお予断を許さない状況であることから、感染拡大防止を最優先としつつ、法人が一丸となり適切に事業運営を継続してまいります。

なお、4月から当法人に12人の新しい仲間が加わりました。元氣あふれるフレッシュな職員たちです。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渡邊 昭浩)

社会福祉法人 武蔵野 案内図

各施設は、
●児童サービス
●障害者サービス
●高齢者サービス
に色・書体分けしています。また、A～Cは本誌に記事を掲載している施設です。



編集後記

「エシカル消費」できることから、できる範囲で行動していきたいと思えます (い)

2022 第56号
社会福祉法人武蔵野 広報誌ふれんど第56号
https://fuku-nusashino.or.jp/ [編集] (株) 武蔵野 広報委員会 ふれんど編集部 [編集協力・制作] 七七舎 渡辺のぞみ
※Presso (ふれんど) は「タリム語」で「ふれんど」という意味です。表紙の題字はご利用者が書いたものです。 ※音訳レイアウト版を希望の方は事務局(TEL 0422-154-176)まで
発行日 令和4年5月1日 [発行所] 渡邊昭浩 TEL 0422-154-176 FAX 0422-154-175
〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町4-11-16
TEL 0422-154-176 FAX 0422-154-175